

土地利用

# 土地利用アンケート調査の結果

9月から10月にかけて実施した「安曇野市土地利用に関するアンケート調査」の結果がまとまりました。その概要についてお知らせします。

この調査は、安曇野市の土地利用管理の方策を検討するために、生活者の視点からみた土地利用に関する現状・課題・必要な施策・方向性などを把握することを目的に実施しました。調査結果は、今後の検討材料とさせていただきます。



市民検討委員会

## 周辺環境に対する満足・不満足

周辺環境で日ごろ満足していることと、不満と感じていることについての問いには、次のような回答がありました。

### 〈満足の内容〉

「きれいな景色が見られる」という回答が多く半数以上の人の回答がありました。次いで多かったのが、「水がおいしい、空気がきれい」で4割程度の回答がありました(図1)。

環境の良さに対する満足度が際立って高いことが分かりました。**不満と感じている内容**

「道路が狭く危ない」、「交通の便が悪い」、「日常の買い物に遠くて不便」の順に多く、交通の利便性に関する不満が多く

## 農地に対する農家の意向

6割近くの方が今後も「今のままの規模で経営を続けたい」と考えていることが分かりました。一方、経営縮小や離農したいと考えている人は3割で、そのうち約32%が売却や転用によって資産としての活用を望み、約45%が賃貸や作業委託によって農地としての継続を希望していることが分かりました(図5)。

図1

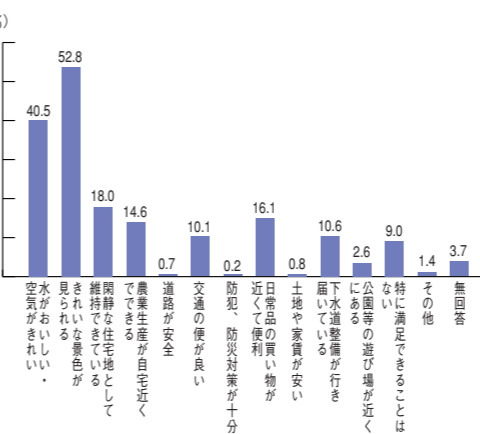
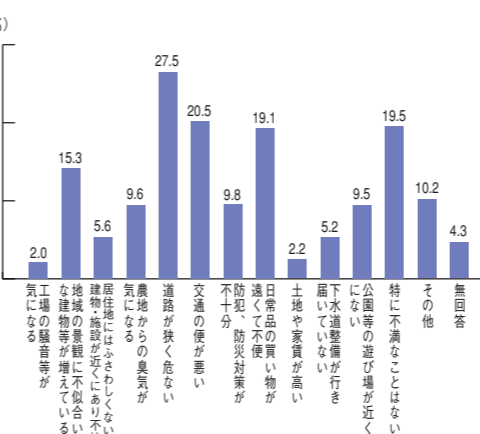


図2



## 調査概要

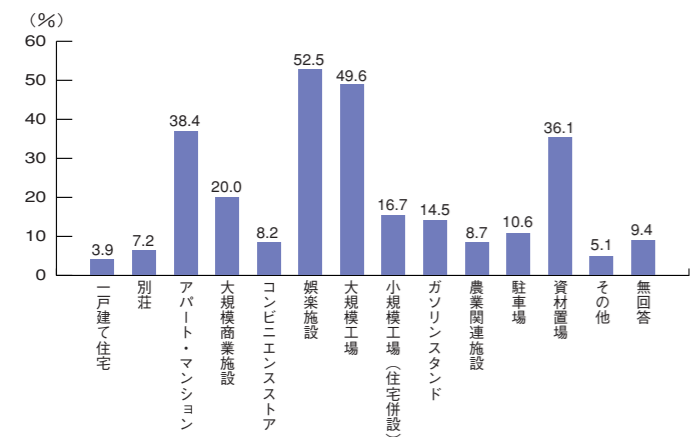
- ①調査対象 全戸34,022戸
  - ②配布方法 広報あづみのNo.22と合わせて配布
  - ③調査期間 平成18年9月20日～10月10日
  - ④有効回答数 (回答率) 9,314戸 (約27.4%)
    - 非農家 6,334戸 (約23.4%)
    - 農家 2,980戸 (約42.8%)
- ※農家とは、「耕作面積10a以上」または「農作物販売額が15万円以上の世帯」をいいます。

## 自宅周辺に建つと困ると感じる施設

特に多かった回答は「娯楽施設」、「大規模工場」、「アパートやマンション」、「資材置き場」でした。

次いで、「大規模商業施設」、「小規模工場」、「ガソリンスタンド」、「駐車場」の順に多く、いずれも10%以上の回答がありました(図3)。

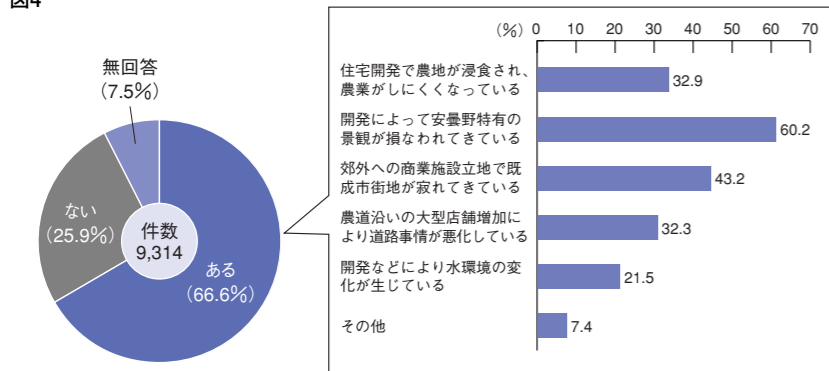
図3



## 土地利用に対する問題認識

安曇野市の土地利用については、6割以上の方が「問題がある」と回答しています。その理由は「開発によって安曇野特有の景観が損なわれてきている」という回答が最も多く挙げられました(図4)。

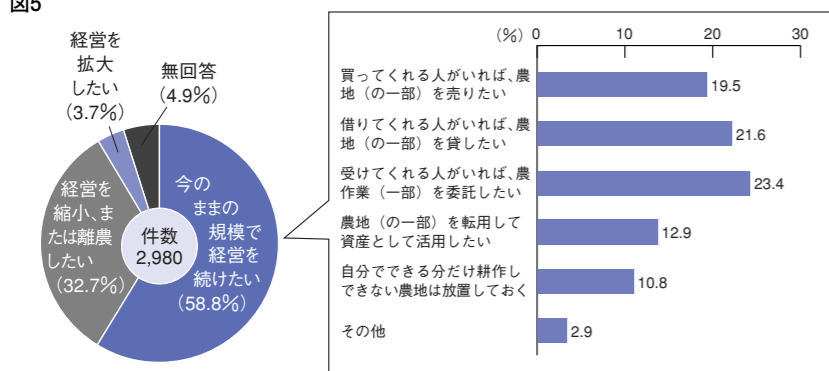
図4



## 新たな宅地誘導に対する意向

新たな宅地誘導の在り方については、「小規模の宅地開発を集落付近に分散させて受け入れる」と回答した人が4割以上で、最も多くの回答がありました(図6)。

図5



土地利用構想専門委員会

図6

